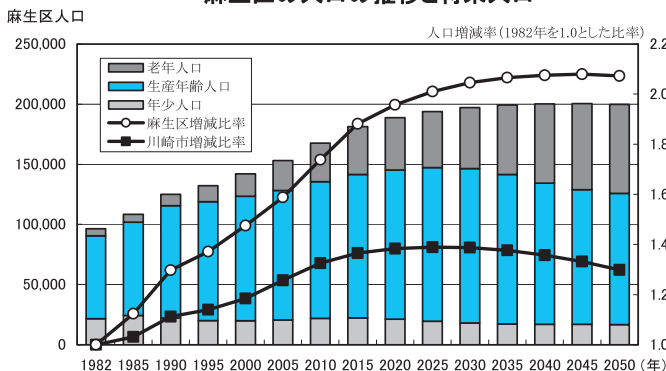


■麻生区の現状と主な課題

- 新百合ヶ丘駅周辺は、広域拠点として、都市機能が集積しており、2007年には、大規模集合住宅との複合整備により、昭和音楽大学が移転開校し、新百合ヶ丘キャンパスがオープンしました。また、アートセンターの開館や万福寺土地区画整理地区のまち開きなど、広域拠点としての機能強化が図られています。今後も、広域拠点としての機能強化に向け、交通基盤の整備や、駅周辺の交通渋滞などの交通環境の改善、さらには、駅周辺のバリアフリー化など快適に暮らすまちづくりに向けた取組が必要です。
- 柿生駅周辺地区においても、交通混雑の解消、歩行者の安全確保は大きな課題であり、駅前広場整備などの都市施設の整備が求められています。
- また、麻生区は、坂道が多いなどの地形上の特性から、駅、公共機関等へのアクセス向上のための取組とともに歩行者等の安全性の向上を図るため、道路の安全対策や跨線橋など橋りよりの耐震対策を行い、安全で災害に強いまちづくりの推進が必要です。
- 麻生区は、1982年の分区時の約9万6千人から人口が堅調に増加し、2007年には16万人に到達しています。将来的にも人口増加率は市平均を上回り、最も長く人口が増えつづけると推計されています。

麻生区の人口の推移と将来人口

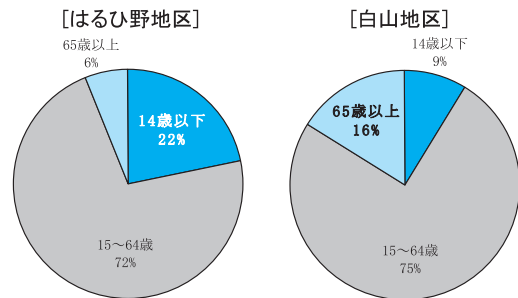


(川崎市将来人口推移)

- 老年人口比率は約17%であり、定住志向の高さから今後も高齢化の進展が見込まれ、介護サービス基盤の充実や介護予防の取組が必要です。

- 2008年には、百合丘に市内初の障害者複合施設として「北部リハビリテーションセンター」の開設が予定されています。
- 小田急多摩線沿線をはじめ、新たに開発された「はるひ野」地区などで、子どもの割合が多く、開発から一定の年月が経過した「白山」地区などでは高齢者の割合が多いなど、人口増減や構成比等が異なっており、それぞれの特性を踏まえた地域づくりが必要です。
- また、同線沿線の宅地開発の進展など、今後とも区域内への若い世帯の転入などによる児童生徒の増加に適切に対応するため、学校教育施設的环境整備とともに、学校の適正規模化に向けた取組が必要です。

年齢(3区分)別人口構成比比較



(本市調べ 2007年6月30日現在)

- 麻生区の面積の約3分の1は、市街化調整区域で占められており、自然環境が豊かなまちです。まとまった農地や緑地は、区民の住環境への満足度や定住志向を高めています。
- 麻生区の有するこの農地や緑地は本市に残された貴重な環境資源であり、農業振興地域である「黒川」、「岡上」、「早野」の各地区の農ある風景の保全や、さらに「黒川」地区では、農業公園づくり事業や2008年に開設する大型農産物直売所を活用した市民交流型農業を推進し、環境を守り自然と調和したまちづくりが必要です。
- 区内に伝わる伝統・伝承文化を絶やすことなく、次世代へ継承し、「ふるさとあさお」が感じられるまちづくりが必要です。
- また、区民自らがまちづくりを進めるといふ熱意、発意が高い区の特性を踏まえ、参加と協働による市民自治のまちづくりを推進することが必要です。

- そのためには、地域づくりにおける協働の観点から市民活動への支援を推進する必要があり、特にシニア世代の地域活動への参加促進が求められています。
- 芸術のまちづくりを進めている麻生区では、麻生音楽祭をはじめ、あさおランチタイムコンサート、KAWASAKI しんゆり映画祭など活発な芸術文化事業が展開され、地域の特性を活かした、個性と魅力が輝くまちづくりを推進しています。
- 特に麻生音楽祭は分区以来、区民に愛され、親しまれており、あさおランチタイムコンサートなど音楽関連事業の来場者は年間8千人を超えるなど、区を代表する事業として定着しています。
- 今後は、2007年のアートセンターの開館や万福寺土地区画整理地区のまち開きなどを契機とした「しんゆり・芸術のまち」のPR活動などの取組の成果を踏まえ、日本映画学校や昭和音楽大学などと連携し、映像や音楽をはじめとした地域に根ざした多彩な芸術・文化活動を広く市内外に情報発信していくことが求められています。
- 新百合ヶ丘駅周辺地区を中心とする「しんゆり・芸術のまち」づくりの推進をはじめ、地域の特色である「農」や「4大学（昭和音楽大学、玉川大学、田園調布学園大学、和光大学）公学協働ネットワーク」、「日本映画学校」、「アートセンター」、「川崎フロンターレ麻生グラウンド」、「マイコンシティ」など地域資源を活用したさまざまなまちづくり活動の取組が必要です。

■区民会議の審議状況

「心が響きあう地域づくり」をテーマに、事例を通して課題解決に向けての提案を行い、実施できるものから取組を開始しています。

・事例1「こどもの見守り」～地域のつながり「あいさつ」がはじまり～

子どもの見守り活動についての現状報告、自主活動団体からの活動報告・問題提起などを受けて調査審議を行い、子どもの見守りを通じた地域づくりを進める方策を提案しました。

・事例2「地元農産物と地域の交流」

麻生区の特色である「農」を通じた地域の交流を進める方策について、専門部会を設置し、調査検討を進めています。

区内小学校全16校に対してアンケートを行い、小学校における農業体験、食育に関する取組状況を把握しました。この結果を受けてモデル校を選定し、学校農園を通じた地域交流の仕組みづくりについて提案しました。

・事例3「高齢者」

「高齢者」の地域参加と「高齢者」の見守りを通じた地域づくりを進める方策について、専門部会を設置し、調査検討を進めています。

元気高齢者が集える場として「老人いこいの家」に着目し、指定管理者からの意見聴取、利用者及び運営委員に対するアンケートなどの結果を受けて、施設を地域の活動拠点として有効に活用するための方策を提案しました。



あいさつを交わしながらの
子どもの見守り活動

●区民会議の審議を踏まえた主な取組

- ①区民会議ニュースや地域メディア等で地域の活動事例を紹介し、活動の拡充や他地域への広がりを図ります。
- ②町内会などの既存組織と連携し、地域の実態に即した活動支援を行います。
- ③区民と協働で「地域づくりの手引き」を策定し、地域の主体的な取組による地域づくりを推進します。
- ④シニア世代を活用するための取組を「麻生市民交流館やまゆり」を中心に展開します。
- ⑤モデル校で実施する学校農園を通じた地域交流のしくみを他校へ拡充していきます。

麻 生 区

■麻生区役所における主な取組 計画期間（2008～2010年度）の事業目標

事業名	現状	事業内容・目標			
		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度以降

基本政策Ⅰ 安全で快適に暮らすまちづくり

●区民・各種団体相互の連携強化を図り犯罪防止力・地域防災力の強化に向けた取組を進めます。

Ⅰ-1 暮らしの安全を守る

安全・安心まちづくり事業(防犯) 防犯ネットワークの拡充や広報啓発活動の推進を図り、犯罪防止に向けた取組を推進します。	●防犯ネットワークの構築 ●地域防犯組織への支援	●防犯ネットワークの拡充		→	事業推進
		●地域防犯組織への支援		→	

Ⅰ-2 災害や危機に備える

安全・安心まちづくり事業(防災) 麻生区地域防災計画に基づき、災害時における「自助」、「共助」による地域防災力の強化を図ります。	●自主防災組織への支援 ●防災訓練の実施	●自主防災組織への支援		→	事業推進
		●防災訓練の実施		→	

基本政策Ⅱ 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

●区民・ボランティアグループ等との連携による福祉のまちづくりを進めます。

Ⅱ-1 超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

小地域のつながり事業 地域の現状や課題を共有するため小地域懇談会を開催し、麻生区型地域福祉コミュニティづくりの推進を図ります。	●第1期あさお福祉計画に基づくモデル事業の実施	●第2期あさお福祉計画に基づく事業の展開	●第2期あさお福祉計画に基づく事業の拡充	→	●第3期あさお福祉計画に基づく事業の展開
		●小地域懇談会の設置及び開催	●小地域懇談会の開催	→	

基本政策Ⅲ 人を育て心を育むまちづくり

●地域で人を育て、人が地域を育てることを実感できるまちづくりを進めます。

Ⅲ-1 子育てを地域社会全体で支える

総合的な子ども支援機能の整備 関係機関との連携強化を図り、子どもに関する相談・情報提供など、総合的に子ども支援を推進します。	●子ども相談窓口の開設 ●子育て人材バンク事業の実施	●子ども相談窓口体制の充実	●子ども相談機能の拡充	→	事業推進
		●子育て人材バンク事業の実施		→	
子ども関連大学連携事業 子育てに関して大学が有する知的資源・人材等と連携し、子育て支援策の検討及び展開を図ります。	●マタニティコンサート、小学校出前コンサートの開催	●マタニティコンサート、小学校出前コンサートの開催		→	事業推進
		●新たな子育て支援策の検討・実施		→	

事業名	現状	事業内容・目標			
		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度以降

基本政策Ⅳ 環境を守り自然と調和したまちづくり

●農ある風景を保全し、環境を守り自然と調和したまちづくりを進めます。

Ⅳ-1 環境に配慮し循環型のしくみをつくる

自然エネルギー活用促進事業 地球温暖化対策の一環として、大学等と連携し、自然エネルギーの活用促進の啓発を図ります。	●啓発講座、施設見学会の開催 ●小学校出前授業の実施	●啓発講座、施設見学会の開催 ●小学校出前授業の実施			事業推進
--	-------------------------------	-------------------------------	--	--	------

Ⅳ-3 緑豊かな環境をつくりだす

里地・里山保全推進事業 区内に残る里地・里山を保全するため、大学等と連携した取組を推進します。	●里山フォーラム、里地里山カフェ塾の開催	●里山フォーラム、里地里山カフェ塾の開催 ●ネットワーク通信、広報ガイド冊子の発行			事業推進
--	----------------------	--	--	--	------

基本政策Ⅵ 個性と魅力が輝くまちづくり

●産学公民が連携し、地域資源を活かしたまちづくりを進めます。

Ⅵ-1 川崎の魅力を育て発信する

しんゆり・芸術のまち推進事業 (区課題) 新百合ヶ丘駅周辺地区を中心とした芸術のまちづくりを推進し、しんゆりブランドの確立に取り組みます。	●(仮称)「しんゆり・芸術のまち」を推進する会設立に向けた検討 ●サインの設置	●(仮称)「しんゆり・芸術のまち」を推進する会設立 ●サインの整備	●芸術関連イベントへの支援		事業推進
地域資源を活用したまちづくり事業 【区民会議課題】 地域の特色である「農」や4大学などの地域資源を活用した魅力あるまちづくりを推進します。	●区民会議における調査審議 ●公学協働ネットワーク協定(昭和音楽大学、玉川大学、田園調布学園大学、和光大学)に基づく連携	●「農」を活用した交流事業の実施 ●大学連携事業の企画・実施	●大学連携事業の拡充		事業推進
麻生音楽祭 「しんゆり・芸術のまち」の推進と連携しながら、麻生区を中心に活動している音楽団体による音楽のまちづくりを推進します。	●区民参加型の音楽祭の開催	●区民参加型の音楽祭の開催			事業推進
観光資源の魅力紹介事業 区の魅力を紹介するため、観光ボランティアを活用し、観光案内の企画・実施やホームページの制作・運営に取り組みます。	●観光ガイドブックの作成	●ホームページの制作 ●観光案内の企画・実施	●ホームページの運営		事業推進

麻 生 区

事業名	現状	事業内容・目標			
		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度以降

基本政策Ⅶ 参加と協働による市民自治のまちづくり

●区民の参加と協働による地域課題解決に向けた取組を進めます。

Ⅶ-1 自治と協働のしくみをつくる

あいさつが交し合える地域づくり事業 【区民会議課題】 区民会議の課題である「心が響きあう地域づくり」を推進するための手引きを作成し、あいさつが交し合える地域づくりに取り組みます。	●区民会議における調査審議	●モデル地区の選定 ●現状把握、課題抽出のための実態調査	●モデル地区での実践 ●地域づくり方策の検証 ●「地域づくりの手引き」の作成	●「地域づくりの手引き」の活用	事業推進
---	---------------	---------------------------------	--	-----------------	------

Ⅶ-2 市民と協働して地域課題を解決する

麻生区市民活動支援施設活用事業(区課題) 「麻生市民交流館やまゆり」を活用し、運営主体である市民組織と協働して市民活動の支援に取り組みます。	●活動の「場」の提供 ●相談窓口の開設	●活動の「場」の提供 ●ネットワークの構築	●ネットワークを活用した人材交流、フォーラムの開催	●ネットワークを活用した人材交流の促進	事業推進
窓口サービス改善推進事業 窓口利用者の視点に立った改善課題を掲げ、課題解決を図り、便利で快適な区民サービスの提供に取り組みます。	●麻生区窓口サービス改善推進事業の実施 ●接遇研修の実施	●麻生区窓口サービス改善推進事業の推進 ●接遇研修の実施			事業推進
麻生区区民会議運営事業 地域社会の課題を区民の参加と協働により地域が主体的に解決するため調査審議し、課題解決に向けた取組を推進します。	●第1期区民会議の運営 ●区民会議ニュースの発行 ●フォーラムの開催	●第2期区民会議の運営 ●委員の改選 ●区民会議ニュースの発行	●フォーラムの開催	●第3期区民会議の運営 ●委員の改選	事業推進

